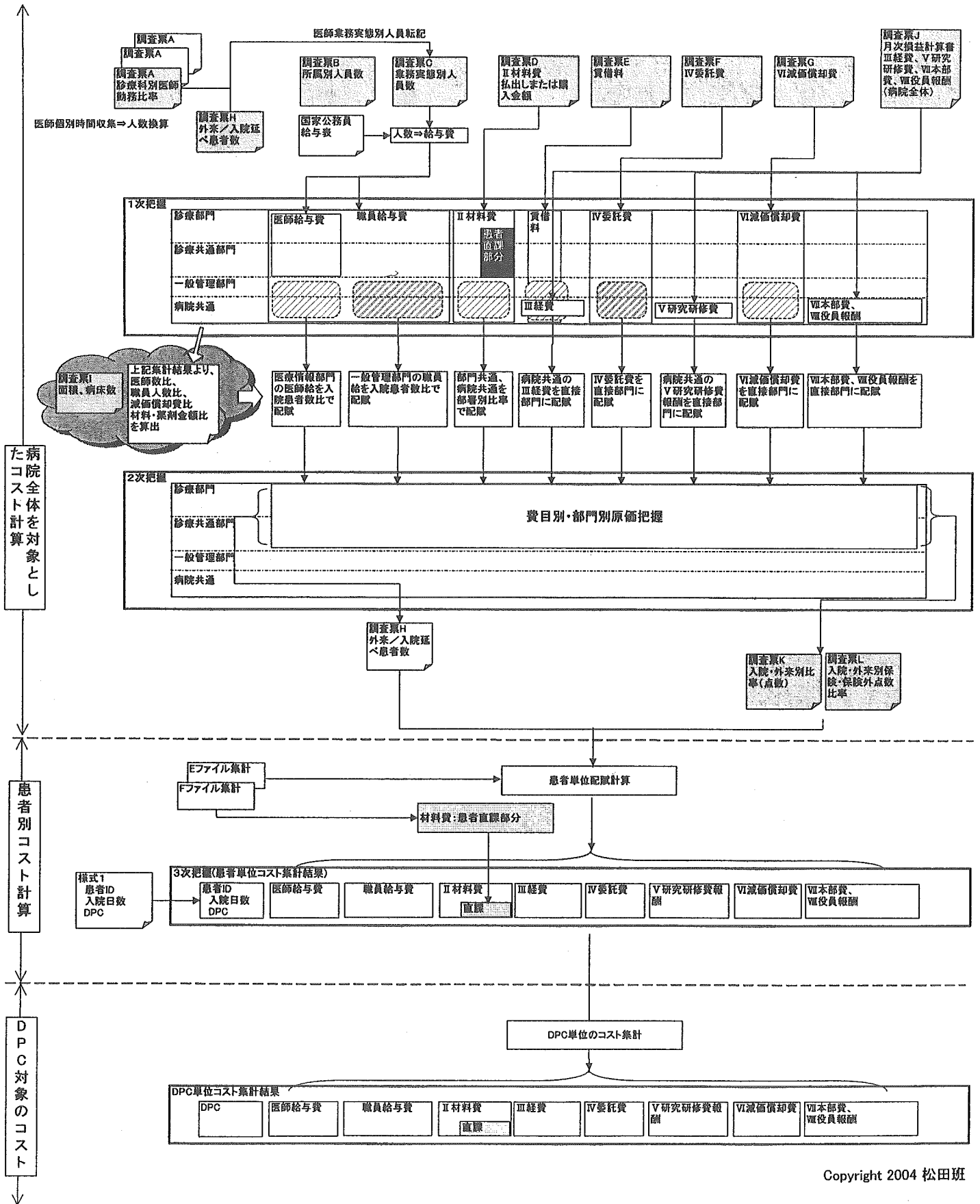


診断群分類別コストデータ収集概要

2004/12/17 更新



Copyright 2004 松田班

調査票A 診療科別医師・歯科医師勤務比率(人数):

診療科別 調査票A	院内勤務		病棟の業務																							
	1ヶ月を 計	1ヶ月を 計	病棟以外の業務	診療に係る行為	内科	外科	小児科	産科	皮膚科	泌尿器科	呼吸器科	消化器科	循環器科	泌尿器科	外科	その他	手術部	輸血部	放射線部	リハビリ 部	当直	臨床研修 医の教育 (フロンティア)	研修センター 専任 医外診	その他(夜 間診療)		
研修医																										
研修年数10年未満																										
研修年数10年以上																										
助産師・看護師																										
教授・部長																										
合計(人数)																										

調査票A 診療科別医師・歯科医師勤務比率(人数)

Copyright 2005 松田班

- 調査票Aは医師給を部署別に配賦するために使用する。
(基本的に医師が勤務する部署が全て対象となる)
- ◆ 配布する表計算ソフトでは「部署01」～「部署50」まで作成してあるが、入力の際には実際の部署名に修正する。あまった場合は、削除する。
- ◆ 入力に当たっては、ストップウォッチによるタイムスタディ等は行わず、責任者が把握している範囲で入力する。数値は小数点以下2桁まで入力する。
- ◆ 麻酔医も調査票Aに入力する。
- 診療科別に7月の勤務実績別人員を入力する。
- ◆ 勤務実績別人員とは、2004年7月1日は一般的な営業日であることから、8時間×21日＝168時間／月として計算する。
40時間／週で4.2週に相当する。複数の医師が交代で7月の31日間24時間勤務した場合、合計勤務時間＝744時間となり、4.4人のカウントになる。3人で交代勤務したか4人で勤務したかは「所属人数」で把握される。
- ◆ 1人の医師が複数診療科を業務している場合は、勤務実績別人員をそれぞれ診療科に入力する。
- 医師については、以下の分類で小計を算出する。
 - ・研修医
 - ・経験年数10年未満
 - ・経験年数10年以上
 - ・助教授・講師
 - ・教授・院長
- ◆ 経験年数については、臨床経験年数とし、非常勤であっても診療に従事している期間は臨床経験年数に算入する。
実際に支給されている給与とは無関係に、臨床経験年数で分類する。
- ◆ 所属部署や勤務実績別人員については、総力部署に紐付けする。
- 「病棟以外の業務」とは、自院外での医療活動(研究日、学外業務(アルバイト)、診療応援等)、会議・出張、学会活動、研究活動、本部業務とする。
また、研修・教育については、病院内の患者に対する診療行為を伴う場合「臨床研修医の教育」、それ以外は「病棟以外の業務」とする。
- 業務区分(横軸＝列)のうち、部署に関連した業務については、各病院の実態に基づいて設定することになるが、調査票B以降の部署に対応するように設定する。
(調査票Aは、医師が勤務する業務区分のみ、B以降は病院全体となるので、調査票Aの各業務区分がB以降の部署に全て含まれる形になる。)
- 8月～10月に医師の異動があった数値に異動がある場合に、当該診療科の当該医師区分について提出する。異動があっても上記の換算人数が7月の数値に比べて異動がなければ、提出は不要である。(以下の調査票B、Cとも共通。)
- 大病院の場合は、「病棟の業務」とは自院内の医療活動および各種委員会の管理業務など診療活動以外の業務の両者を含む。自院外での医療活動(研究日、学外業務(アルバイト)、診療応援等)、学生教育、学会活動、研究活動、本部業務は「病棟以外の業務」とする。
また、研修・教育については、病院内の患者に対する診療行為を伴う場合「臨床研修医の教育」、それ以外は「病棟以外の業務」とする。

調査票D 材料費

(単位:円)

(単位:円)

Eファイルの 病種コード	診療報酬対象外の薬剤・材料				計
	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	
外来	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
病棟	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
外来共通	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
入院共通	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
診療部門合計	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
薬剤部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
中央放射線部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
中央検査部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
放射線治療部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
手術部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
輸血部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
リハビリ部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
臨床工学部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
栄養給食部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
診療共通部門共通	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
診療共通部門合計	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
総務部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
人事・労務部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
経理部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
企画経営管理部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
医事部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
購買部(物流管理)	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
施設管理課	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
医療情報部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
庶務管理部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
医療相談部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
地域医療連携部	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
一般管理部門共通	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
一般管理部門合計	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
病院共通	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
病院部門合計	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
その他部門	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計
総合計	医薬品	検査用薬品	その他(消 毒薬等)	診療材料	計

選択推奨方法:()推奨

- 循環器内科
- 呼吸器内科
- ...
- 人間ドック外来
- 救急救命センター
- 特定集中治療室
- 新生児特定集中治療室
- 総合周産期特定集中治療室
- 広範困難症特定集中治療室
- 緩和ケア病棟
- 回復期リハビリ棟
- 一般病棟1
- 一般病棟2
- ...
- 人間ドック

第一推奨:1ヶ月(4ヶ月間)の払い出し金額と1年間の払い出し金額双方を入力する。
 第二推奨:1年間の払い出し金額のみを入力する。
 第三推奨:1ヶ月(4ヶ月間)の購入金額と1年間の購入金額双方を入力する。
 第四推奨:1年間の購入金額のみを入力する。

病院の実態によって第一推奨から第四推奨の何れかの方法を選択することが出来るが、どの方法を選択したか調査票Dに入力する。

患者給食材料費は施設全体の利用者や食数により、患者にかかると金額のみ入力する。

医療消耗器具備品費とは、「①診療用具のうち、注射針、注射筒、ゴム管、体温計、シヤールなど1年以内に消費するものの費消額、②診療用具のうち、聴診器、血圧計、鉗子類など減価償却を必要としないで1年をこえて使用できるものの費消額、③患者給食用具のうち、食器、ざるなど1年以内に消費するものの費消額、④患者給食用具のうち、食缶、鍋など減価償却を必要としないで1年をこえて使用できるものの費消額、⑤半減期が1年以内の放射線同位元素の費消額」の金額を入力する。
 医療消耗器具備品費と、後述する調査票Jの「消耗品費」・「消耗器具備品費」と区別して入力する。

診療材料とは「レントゲンフィルム、酸素、ギブス粉、包帯、ガーゼ、縫合糸、氷など1回ごとに消費する診療材料の費消額」の金額を入力する。

調査票D 材料費(診療報酬対象外のみ)

- 調査票Dは診療報酬対象外の薬剤・診療材料、及び医療消耗器具備品・患者給食材料の消費額(払い出し金額)を把握するための調査票である。
- 診療報酬対象外の薬剤・材料の物品消費(払い出しまたは購入額)については、物流管理の情報等で把握されている部室別の金額(定価ベースまたは定価がない場合は購入価ベース)を該当欄に入力する。
- コスト計算においては、診療報酬対象の薬剤・診療材料はE/Fファイルより取得するので、調査票Dには診療報酬対象の薬剤・診療材料は含まない。

調査票E 賃借料

—月

単位:円

		Eファイルの 病棟コード	賃借料					計
			医療用器械備品賃借料	その他の器械備品賃借料(合計)	その他の器械備品賃借料	情報システム賃借料	建物・構築物関連賃借料	
診療部門	外来	循環器内科						
		呼吸器内科						
		...						
	病棟	人間ドック外来						
		救急救命センター						
		特定集中治療室						
		新生児特定集中治療室						
		総合周産期特定集中治療室						
		広範囲熟睡特定集中治療室						
		緩和ケア病棟						
		回復期リハビリ病棟						
		一般病棟1						
		一般病棟2						
		...						
		人間ドック						
外来共通								
入院共通								
診療部門共通								
診療部門合計								
診療共通部門	薬剤部	X線室						
		CT室						
		MRI室						
		RI室						
		血管造影室						
		その他の画像診断						
	中央放射線部	超音波室						
		内視鏡室						
		病理検査室						
		一般検体検査室						
	中央臨床検査	その他検査室						
		放射線治療室						
	手術部							
	中央材料部							
	輸血部							
透析部								
リハビリ部								
臨床工学部								
栄養給食部								
診療共通部門共通								
診療共通部門合計								
補助部門	総務部	人事・労務部						
		経理部						
	企画経営管理部	企画経営管理部						
		医事部						
	購買部(物流管理)	購買部(物流管理)						
		施設管理部						
		医療情報部						
		病歴管理部						
		医療相談部						
		地域医療連携部						
		一般管理部門共通						
	一般管理部門合計							
	病院共通							
	病院部門合計							
	その他部門計							
総合計								

■ 「その他の器械備品賃借料」と「情報システム賃借料」の分別が困難な場合は、「その他の器械備品賃借料」と「情報システム賃借料」を一括して、「その他の器械備品賃借料」とすること可能とする。
 ■ 「情報システム」とはその他の器械備品賃借料の中のIT関連機器のことを指す。例としては医事会計システムやオーダーリングシステムなど医療に直接的に関わらない器械備品が該当する。
 ■ システムの保守費などは「器械保守委託費」に入力する。これは「その他の器械備品賃借料」に一括入力した場合も同様とする。ただし、医療用器械備品賃借料に含まれている場合は、この限りではない。

■ 「医療用器械備品賃借料」は、医療に直接的に関わる器械備品が該当する。
 ■ 医療用機械器具備品の中に保守費が含まれている場合は、そのシステムの保守費はそのまま医療用機械器具備品賃借料に入力する。

調査票E 賃借料

■ 調査票Eは賃借料を把握するための調査票である。年度予算または、前年度実績を月額換算(12で除す)した結果を入力する。今期に入り昨年と比較して大きな変動があるものについては、今期予算を1/12にするか、前年度実績に当該変動要素を反映するようにして、実態に近い金額にする。
 ◆ 調査票Eは7月～10月共通とし、月別は不要である。年度の途中で高額医療用機器などの導入やリース料率の変更等で月額が大きく変動する場合は、実績もしくは予算に応じて月別に提出する。

■ 賃借料は、「医療用器械備品賃借料」と「その他の器械備品賃借料」・「情報システム賃借料」、及び「建物・構築物関連賃借料」と「その他の賃借料」の合計5つに分類する。

※ 一括記載可能な費用

Copyright 2005 松田班

調査票F 委託費

月

単位:円

Eファイルの 病棟コード	委託費										計	
	検査	歯科技工	寝具類洗 濯・賃貸	病衣類洗 濯・賃貸	清掃	器械保守	患者給食	その他	医事	廃棄物処 理		
診療部門	循環器内科											
	呼吸器内科											
	...											
	人間ドック外来											
	救急救命センター											
	特定集中治療室											
	新生児特定集中治療室											
	総合周産期特定集中治療室											
	広範囲熱傷特定集中治療室											
	緩和ケア病棟											
	回復期リハ病棟											
	一般病棟1											
	一般病棟2											
	...											
	人間ドック											
外来共通												
入院共通												
診療部門共通												
診療部門合計												
診療共通部門	薬剤部											
	中央放射線部	X線室										
		CT室										
		MRI室										
		Ri室										
		血管造影室										
	その他の画像診断											
	中央臨床検査部	超音波室										
		内視鏡室										
		病理検査室										
		一般検体検査室										
	その他検査室											
	放射線治療室											
	手術部											
	中央材料部											
輸血部												
透析部												
リハビリ部												
臨床工学部												
栄養給食部												
診療共通部門共通												
診療共通部門合計												
補一般部門管理	総務部											
	人事・労務部											
	経理部											
	企画経営管理部											
	医事部											
	購買部(物流管理)											
	施設管理部											
	医療情報部											
	病歴管理部											
	医療相談部											
地域医療連携部												
一般管理部門共通												
一般管理部門合計												
病院共通												
病院部門合計												
その他部門計												
総合計												

「患者給食委託費」は利用者や食数により、患者にかかる金額のみ入力する。

システム関連の保守費は、「器械保守委託費」に入力する。ただし、医療用器械備品賃借料に含まれている場合は、システムの保守費はそのまま医療用機械器備品賃借料に入力する。

「寝具類洗濯・賃借委託費」や「病衣洗濯・賃借委託費」は、契約がリース形態となっても、「委託費」に入力する。

調査票F 賃借料

- 調査票Fは委託費(月次実績金額)を把握するための調査票である。データが月で偏りがある場合は、数ヶ月分の平均値や年間予算値の1/12でもかまわない。
- ◆ 調査票Fは7月～10月共通とし、月別は不要である。年度の途中で高額医療用機器などの導入や業務の外注委託化等で月額が大きく変動する場合は、実績もしくは予算に応じて月別に提出する。
- 可能な限り部署・組織を特定し、金額を入力する。
 - ◆ 患者給食委託費は給食部に配賦する。
 - ◆ 検査委託費は該当する各検査室に配賦する。
 - ◆ 歯科技工委託費は歯科に配賦する。
 - ◆ 寝具類洗濯・賃借委託費は職員比(調査票B)で各部署に配賦する。
 - ◆ 清掃委託費および建物関連の保守費は、面積比(調査票1)で各部署に配賦する。
 - ◆ 機械器具の保守は各部署に配賦する。
 - ◆ その他は同様に発生部署に配賦する。
 - ◆ 医事委託費は医事課に配賦する。
 - ◆ 廃棄物処理等は当該業務を管掌する部署に配賦する。
 - ◆ 業務委託の人員については委託費として計上し、極力当該業務を管掌する部署に配賦する。(委託業務の人員が調査票Cと重複しないようにする。)
- 部署が特定不可能なものは、部門共通、病院共通に金額を入力する。

Eファイルの病棟コード		減価償却費										計
		建物(合計)		建物付属設備	医療用器械備品	その他の器械備品(合計)		その他の有形固定資産(合計)		無形固定資産		
		建物	建築物設備		その他の器械備品	情報システム	その他の有形固定資産	その他の有形固定資産	放射線同位元素	車両船舶備品		
診療部門	循環器内科											
	呼吸器内科											
	...											
	外来											
	人間ドック外来											
	救急救命センター											
	特定集中治療室											
	新生児特定集中治療室											
	総合周産期特定集中治療室											
	広範囲熱傷特定集中治療室											
	緩和ケア病棟											
	回復期リハビリ病棟											
	一般病棟1											
	一般病棟2											
	...											
人間ドック												
外来共通												
入院共通												
診療部門共通												
診療部門合計												
診療共通部門	薬剤部											
	X線室											
	中央放射線部											
	CT室											
	MRI室											
	Ri室											
	血管造影室											
	その他の画像診断											
	中央臨床検査部											
	超音波室											
	内視鏡室											
	病理検査室											
	一般検体検査室											
	その他検査室											
	放射線治療室											
手術部												
材料部												
輸血部												
透析部												
リハビリ部												
臨床工学部												
給食部												
診療共通部門共通												
診療共通部門合計												
補佐部門	総務部(人事・労務)											
	医事部											
	経理部											
	医療情報部											
	病歴管理部											
	医療相談部											
	地域医療連携部											
	一般管理部門共通											
	一般管理部門合計											
	病院共通											
病院部門合計												
その他部門計												
総合計												

「建築物設備」単独での把握が困難な場合は、「建物」と一括して入力することも可能とする。

「車両船舶減価償却費」「放射線同位元素減価償却費」の単独での把握が困難な場合は、「その他の有形固定資産減価償却費」に、「一括して入力することも可能とする。

「情報システム」とはその他の器械備品減価償却費の中のIT関連器機のことを指す。例としては医事会計システムやオーダーリングシステムなど医療に直接的に関わらない器械備品が該当する。
 「情報システム」単独での把握が困難な場合は、その他器械備品として一括して入力することも可能とする。

「医療用器械備品減価償却費」は、医療に直接的に関わる器械備品が該当する。

調査票G 減価償却費

■ 調査票Gは部署別の減価償却費を把握するための調査票である。年度予算または、前年度実績を月額換算(12で除す)した結果を入力する。今期に入り昨年と比較して大きな変動があるものについては、今期予算を1/12にするか、前年度実績に当該変動要素を反映するようにして、実態に近い金額にする。
 ◆ 調査票Eは7月～10月共通とし、月別は不要である。年度の途中で高額医療用機器などの導入等で月額が大きく変動する場合は、実績もしくは予算に応じて月別に提出する。

■ 減価償却費は、「建物及び建物附属構築物減価償却費」、「建物付属設備減価償却費」、「医療用器械備品減価償却費」、「その他の器械備品減価償却費」、「その他の有形固定資産減価償却費」、「車両船舶減価償却費」、「放射線同位元素減価償却費」、「情報システム減価償却費」及び「無形固定資産減価償却費」の合計12に分類する。

- 可能な限り部署・組織を特定し、金額を入力する。
 - ◆ 建物、建物付属設備、建築物設備以外のものは固定資産データを各部署に配賦する。
 - ◆ 建物、建物付属設備、建築物設備は固定資産データを面積比率(調査票I)で各部署に配賦する。
 - ◆ 面積を求める場合、廊下等についても特定病棟のものと考えられるものは、当該部署に含める。
 - ◆ その他の有形固定資産減価償却費、無形固定資産償却額のうち、当該部署に直接配賦することができない部分については各病院の判断により按分する。
 - ◆ 車両船舶備品減価償却費は病院共通に、放射線同位元素減価償却費は当該部署に配賦する。

※ 一括記載可能な費用

調査票H 延べ患者数 ____月

		延べ患者				実患者				
		外来延べ患者数		入院延べ患者数		外来実患者数		入院実患者数		
		人・日	比率	人・日	比率	人・日	比率	人・日	比率	
診療部門	外来	循環器内科								
		呼吸器内科								
		...								
		人間ドック外来								
	病棟	救急救命センター	循環器内科							
			呼吸器内科							
			...							
		特定集中治療室	循環器内科							
			呼吸器内科							
			...							
		新生児特定集中治療室	循環器内科							
			呼吸器内科							
			...							
		総合周産期特定集中治療室	循環器内科							
			呼吸器内科							
			...							
		広範囲熱傷特定集中治療室	循環器内科							
			呼吸器内科							
			...							
		緩和ケア病棟	循環器内科							
呼吸器内科										
...										
回復期リハ病棟	循環器内科									
	呼吸器内科									
	...									
一般病棟1	循環器内科									
	呼吸器内科									
	...									
一般病棟2	循環器内科									
	呼吸器内科									
	...									
... >										
外来共通										
入院共通										
診療部門共通										
診療部門合計										

調査票H 延患者数

■ 調査票Hは部署別の配賦比率(延べ患者数比)を把握するための調査票である。
 ◆ 比率の欄は、診療部門合計に対する比率を記入する。
 ◆ 7月一ヶ月分の延べ患者数(DPC対象外も含む全患者)を集計する。7月と同様の方法で8月～10月分についても作成する。

■ 1人の患者さんが、同一日に、同一外来診療科に複数回受診されても、延べ患者数は1人・日とカウントする。同一日に2箇所の診療科で受診された場合は、各診療科に1人・日を立てるので都合2人・日となる。
 ◆ 入院中に外来受診をした場合、可能な限り外来として扱う。ただし、分離不可能な場合は、入院の一部として扱う。

■ 外来共通、入院共通、診療部門共通に対する患者数の入力不要である。

■ 実患者数は、参考値である。入力は必須ではない。

調査票I 面積・病床数

月

			Eファイルの 病棟コード	面積		病床数	
				m ²	比率	床	比率
診療部門	外来	循環器内科					
		呼吸器内科					
		...					
		人間ドック外来					
	病棟	救急救命センター					
		特定集中治療室					
		新生児特定集中治療室					
		総合周産期特定集中治療室					
		広範囲熱傷特定集中治療室					
		緩和ケア病棟					
		回復期リハ病棟					
		一般病棟1					
		一般病棟2					
		...					
	人間ドック						
外来共通							
入院共通							
診療部門共通							
診療部門合計							
診療共通部門	薬剤部						
	中央放射線部	X線室					
		CT室					
		MRI室					
		RI室					
		血管造影室					
		その他の画像診断					
	中央臨床検査部	超音波室					
		内視鏡室					
		病理検査室					
		一般検体検査室					
		その他検査室					
	放射線治療室						
	手術部						
	中央材料部						
輸血部							
透析部							
リハビリ部							
臨床工学部							
栄養給食部							
診療共通部門共通							
診療共通部門合計							
補一般管理	総務部						
	人事・労務部						
	経理部						
	企画経営管理部						
	医事部						
	購買部(物流管理)						
	施設管理部						
	医療情報部						
	病歴管理部						
	医療相談部						
	地域医療連携部						
	一般管理部門共通						
	一般管理部門合計						
	病院共通						
	病院部門合計						
その他部門計							
総合計							

調査票I 面積・病床

■ 調査票Iは部署別の配賦比率(面積比、病床数比)を把握するための調査票である。
 ◆ 面積を求める場合、廊下等についても特定病棟のものと考えられるものは、当該部署に含める。
 ◆ 比率の欄は、病院部門合計に対する比率を記入する。外来入り口、受付・会計付近のスペースは外来共通に含める。外来共通廊下は当該階にある各部署の患者数で按分する。病棟エレベータの各階エレベータホールは当該階の病棟の面積に含まれる。等の考え方で算定する。

■ 調査期間中に変動がない限り、7月分データのみとする。

勘定科目		月次金額	勘定科目	月次金額
医療収益	Ⅰ 入院医療収益	(記入不要)	Ⅱ 診療費	1 診察料
	Ⅱ 入院医療収益	(記入不要)		2 処方料
	Ⅲ 手術医療収益	(記入不要)		3 検査料
	Ⅳ 看護医療収益	(記入不要)		4 薬剤料
医療外収益	Ⅰ 入院医療収益	(記入不要)	Ⅲ 雑費	5 医薬品費
	Ⅱ 入院医療収益	(記入不要)		6 検査材料費
	Ⅲ 手術医療収益	(記入不要)		7 検査器具費
	Ⅳ 看護医療収益	(記入不要)		8 医薬品器具備品費
医療外費用	Ⅰ 入院医療費用	(記入不要)	Ⅳ 診察料	9 医師報酬
	Ⅱ 入院医療費用	(記入不要)		10 薬剤師報酬
	Ⅲ 手術医療費用	(記入不要)		11 検査技師報酬
	Ⅳ 看護医療費用	(記入不要)		12 理学療法士報酬
医療外費用	Ⅰ 入院医療費用	(記入不要)	Ⅴ 研究費	25 研究費
	Ⅱ 入院医療費用	(記入不要)		26 研究費
	Ⅲ 手術医療費用	(記入不要)		27 研究費
	Ⅳ 看護医療費用	(記入不要)		28 研究費
医療外費用	Ⅰ 入院医療費用	(記入不要)	Ⅵ 診療費	35 診療費
	Ⅱ 入院医療費用	(記入不要)		36 診療費
	Ⅲ 手術医療費用	(記入不要)		37 診療費
	Ⅳ 看護医療費用	(記入不要)		38 診療費
医療外費用	Ⅰ 入院医療費用	(記入不要)	Ⅶ 診療費	45 診療費
	Ⅱ 入院医療費用	(記入不要)		46 診療費
	Ⅲ 手術医療費用	(記入不要)		47 診療費
	Ⅳ 看護医療費用	(記入不要)		48 診療費
合計			合計	

※一括記載可能な費用

調査票J 収益・費用(損益計算書)

調査票Jは月次損益計算書であり、主に病院全体の費用を把握するための調査票である。

◆ 7月～10月の4ヶ月間を作成する。

■ 消耗品費とは、「カルテ、検査伝票、会計伝票など医療用、事務用の用紙、帳簿、電球、法利など1年以内に消費するものの費消額。ただし、材料費に属するものを除く。金額を入力し、消耗品器具備品費とは、「医療用、事務用のスチーマー、計算機など減価償却を必要としないもので1年をこえて使用できるものの費消額。ただし、医療消耗器具備品費に属するものを除く」金額を入力することとする。

■ 消耗品費と消耗器具備品費の別が困難な場合は、「消耗品費」として一括することとも可能とする。ただし、医療消耗器具備品費の一括は不可とする。

■ 職員被服費は、病院が費用を負担して購入(取得)し、従業員に支給または貸与する白衣、予防衣、診察衣、作業衣その他の費用を入力する。

■ 修繕費は、「有形固定資産に消耗、腐滅、汚損が生じたとき、原状回復に要した通常の修繕のための費用」を入力し、リース・自己所有問わずシステム等の保守費においては修繕費の中にも含まれる限り「器械保守委託費」に記入する。ただし、医療用器械備品賃借料に含まれている場合は、システムの保守費はそのまま医療用機械器具備品賃借料に入力する。

■ 保険料は、火災保険料、自動車損害賠償責任保険料、病院賠償責任保険料などの費用を入力する。職員の団体生命保険などは福利厚生費に記入し、また職員の退職金等の掛金は人件費に該当するため、今回の調査の対象外とし、その金額を除外する。

■ 福利厚生費は、福利施設負担額、職員団体生命保険、厚生費など職員及びその家族の福利厚生のために要する法定外福利費の金額を入力する。

■ 人件費(調査票C)とは、月次給与・賞与・社会保険料(健康保険料・厚生年金保険料・児童手当拠出金)・労働保険料、及び退職金のこと。これらに含まれる費用は今回の調査の対象外とし、その分の金額を除外することとする。

■ 通信費は電報料、電話料、郵便料金など通信のための費用を指し、車両費は乗用車、救急車、巡回用自動車、船舶などの燃料、車両修繕などの費用を指している。通信費と車両費は、通信運搬費として一括することも可能とする。

■ 調査対象病院の費用として算定されたものでも、明らかに病院以外の部署(例えば、看護専門学校など)にかかる費用は病院のコストとしない。

■ 研究費は、「研究材料費」「謝金」「図書費」「旅費交通費」「研究雑費」の5つの勘定科目から構成されているが、勘定科目ごとの分離が困難であれば、一括して入力することとする。

■ 法人事務局のうち病院に関わるコストは、その機能に応じて幹事室(役員室)、法務部、経理部、人事部、施設整備等の各部署を算定した上で個別コストを算定する方法が実務上は効果的に進められると考えられる。その場合は、残分は下記の3つの方法のうちから、各病院が実態に合わせて選択する。

- ① 独自の区分を設定し計上する。
- ② 管理間接部門の総務部に含めて計上する。
- ③ 病院共通に計上する。

■ 本前票に金額を記入する場合には、調査票Cなどの他の調査票と重複しないように注意する。

調査票K 入院・外来別比率(点数)

診療行為区分	外来		入院		合計	診療共通部門(例)	実際の診療共通部門(年間調査票の診療共通部門)
	点数合計(任意)	比率(必須)	点数合計(任意)	比率(必須)			
検査						中央臨床検査部 一般検査検査室 病理検査室 その他の画像診断室(血管造影検査も含む)または手術室 内視鏡室 超音波室 その他の検査室	各調査票で設定した診療共通部門の対応する部署を入力する。
D000~D028							
D100~D105							
D206~E002							
D295~D324							
D215							
その他のD							
検査部門合計							
画像診断						中央放射線部 X線室 RI室 CT室 MRI室 その他の画像診断室(血管造影検査も含む)	
E000~E004(E002を除く)							
E100~E102							
E200~E201.E203							
E202							
その他のE							
画像診断合計							
検査						薬剤部	
F000~F500							
注射						薬剤部・(併設)	
G000~G300							
リハビリ						リハビリ部	
H000~H100							
処置						(併設)	
J000~J300							
手術						手術室(輸血室を含む)	
K000~K350							
麻酔						手術室	
L000~L300							
放射線治療						放射線治療室	
M000~M004							
その他						透析室・神経治療室など (その他、結石治療室、重篤療法室など)	

■ 集計した点数を元に、合計値を100として、入院・外来の比率を入力する(必須)。
 ■ 点数表コード(診療行為)を元に医事会計システムのデータやFファイルの「行為明細点数」を部署別、入院・外来別に点数を集計し、入力する(任意)。

調査票K 入院・外来別比率(点数)
 ■ 調査票Kは、手術室や放射線室など診療共通部門に係る診療行為点数を把握するための調査票である。
 ■ E、Fファイルの作成範囲が、医療保険対象症例データだけに限定されている場合は、医事会計システムの情報を併用し、自賠責、公費等も含んだ病院全体の全診療行為を対象に集計する。
 ■ 医療保険対象外(自賠責、公費等)を含んだデータが取得できない場合は、「調査票L」にその旨を記入する。取得可能な病院の平均値(割合)を使用して一律補正する。
 ■ 7月~10月の4か月分別々に作成する。
 ■ 調査票に記載されている解釈番号のグループごとに部署を設定する。
 ■ 診療区分(データ区分)単位での解釈番号の集計に漏れないように注意する。

調査票L 入院・外来別保険・保険外点数比率 月

診療行為区分	医療保険	医療保険外		合計
		(他制度、自費診療)		
入院				
入院外				
合計				1

Copyright 2005 松田班

調査票L 入院・外来別保険・保険外点数比率

- 調査票Lは、病院の入院収入と入院外収入とを医療保険によるものと医療保険外によるものとに区分して算出するものである(手技料に關して)。
- 医療保険外は公費、公害、自賠責、ドック等の医療保険制度による支払い以外の収入を合計したものである。
- 調査票Lの各欄には実績点数および点数化した数値から比率を入力する。医療保険外については、病院の実態に応じて1点単価(例えば1点=15円)で割るなどして点数化する。入院・外来、医療保険・医療保険対象外の合計が1(=100%)になるように入力する。
⇒ 室料差額は除いて算定する。
- 7月～10月を別々に作成する。

コストデータ登録(配布版)

「診断群分類を活用した医療サービスの
コスト推計に関する研究」班

ログイン画面

コストデータ登録(配布版) - ログイン画面

コストデータ登録(配布版)

PASSWORD *****

認証 終了

「診断群分類を活用した医療サービスのコスト推計に関する研究」班

メニュー画面

コストデータ登録(配布版) - メニュー画面

メニュー

病院情報入力	勤務実績登録
診療明細情報ファイル読込 (Eファイル)	給与テーブル登録
部署登録	コストデータ登録
データ区分別収入登録	調査票出力
配賦基準データ登録	終了

病院情報入力画面

コストデータ登録(配布版) - メニュー - 病院情報入力

病院情報入力

病院情報

施設コード

病院区分 民間病院 大学病院

病棟コード有効桁数 桁目まで

院号番号/セブ上電
置コード置数 院号番号 セブ上電
置コード

週間基本勤務時間 H

診療明細情報ファイル読込画面

コストデータ登録(配布版) - メニュー - Eファイル読込

診療明細情報ファイル読込
(Eファイル)

Eファイル読込区分 ◁ 新規 ▷ 継続

読込 戻る

2004年04月
2004年06月
2004年08月

部署登録メニュー画面

コストデータ登録(配布版) - メニュー - 部署登録

部署登録

外来診療

病棟

診療共通部門登録

診療共通部門確認

一般管理補助部門

戻る

外来診療科登録画面

コストデータ登録(配布版) - 部署登録 - 外来診療登録

外来診療登録

登録 追加 削除 戻る

診療区分	部門名称
010	消化器内科
030	神経科・精神科
050	呼吸器科
070	呼吸器外科
100	循環器科
110	心臓血管科
120	小児科
130	外科
150	整形外科
160	形成外科
170	脳神経外科
230	皮膚科
240	泌尿器科
270	結石破砕
300	産婦人科
310	眼科
320	耳鼻咽喉科
999	放射線科

病棟登録画面

コストデータ登録(配布版) - 部署登録 - 病棟登録

病棟登録

登録 追加 削除 戻る

病棟コード	病棟名称
3G	CCUBS
3E	3E
3I	ICU3W
3N	NCU3E
3S	3S
3W	3W
6E	6E
6S	6S
6W	6W
6E	6E
6S	6S
6W	6W
7E	7E
7W	7W
	ドック7N

診療共通部門登録画面

コストデータ登録(配布版) - 部署登録 - 診療共通部門登録

診療共通部門登録

登録 追加 削除 戻る

部門名称	レセプト(始)	レセプト(終)	除外するコード
テスト	1600	1605	1602,1604
テスト	1700	1710	1702,1704,1706

診療共通部門確認画面

コストデータ登録(配布版) - メニュー - 診療共通部門確認

診療共通部門確認

戻る

レセプト登録コード	行為名称	部門名称
1600	聴覚覚醒テスト	臨床療養科
1600	脳誘発電位検査(体性感覚誘発電位)	臨床療養科
1600	内視鏡下生検法(2箇所)	臨床療養科
1600	内視鏡下生検法	臨床療養科
1600	前立腺針生検法	臨床療養科
1600	皮膚的針生検法	臨床療養科
1600	シノバ節液穿刺	臨床療養科
1600	シノバ節液針生検	臨床療養科
1600	関節穿刺(片側)	臨床療養科
1600	関節穿刺	臨床療養科
1600	肩窩穿刺	臨床療養科
1600	腋窩穿刺	臨床療養科
1600	腋窩採血	臨床療養科
1600	口腔内組織採取	臨床療養科
1600	ヒステロスコピー	臨床療養科
1600	組織試験採取、切標法(口腔)	臨床療養科
1600	膈膜検査	臨床療養科
1600	EF-首屈	臨床療養科
1600	EF-上行結腸	臨床療養科
1600	EF-下行結腸	臨床療養科
1600	EF-横行結腸	臨床療養科
1600	S状結腸ファイバースコープ	臨床療養科
1600	直腸ファイバースコープ	臨床療養科
1600	小腸ファイバースコープ	臨床療養科
1600	超音波ファイバースコープ	臨床療養科
1600	胃・十二指腸ファイバースコープ	臨床療養科
1600	気管支ファイバースコープ	臨床療養科

一般管理補助部門登録画面

コストデータ登録(配布版) - 部署登録 - 一般管理補助部門登録

一般管理補助部門登録

登録 追加 削除 戻る

部門名称
補助部門中央検査室
補助部門臨床工学課(器材センター)
補助部門心理室
補助部門言語療法室
補助部門視能訓練
補助部門フィルム管理室
補助部門病歴室
補助部門医事第一課
補助部門医事第二課
補助部門救急事務課
補助部門医療安全管理センター
補助部門感染管理センター
補助部門地域医療連携センター
管理部門図書室
管理部門OJルーム
管理部門院長室
管理部門看護部長室
管理部門検査部長室
管理部門薬剤部長室

データ区分別収入登録画面

コストデータ登録(配布版) - メニュー - データ区分別収入登録

データ区分別収入登録

処理年月 2004年09月

登録 戻る

コード	データ区分	行為点数合計	手技料合計	報酬合計	診療材料合計
11	初診	707,120	707,120	0	
12	再診	0	0	0	
13	指導	7,750,550	7,750,550	0	
14	在宅	1,832,230	1,036,900	745,330	
21	内服	25,549,660	0	25,549,660	
22	屯服	678,960	0	678,960	
23	外用	3,457,740	0	3,457,740	
24	調剤=入院	1,598,940	1,598,940	0	
25	処方	0	0	0	
26	麻薬	55,110	55,110	0	
27	調剤	637,140	637,140	0	
28	その他=入院	0	0	0	
31	皮下注射内	3,880,090	0	3,880,090	
32	静脈内	8,911,590	0	8,911,590	
33	その他	70,491,650	10,826,060	66,545,320	2,110
39	調剤料減点=入院	0	0	0	
40	処置	21,322,900	13,539,370	1,636,650	6,146
50	手術	471,842,020	211,495,590	30,789,190	229,557
54	麻酔	52,592,970	46,697,670	4,784,030	1,111
60	検査	127,123,960	94,010,920	6,381,540	26,731
70	画像診断	49,939,660	33,351,020	10,995,350	5,552
80	その他	9,840,410	9,840,410	0	
90	入院基本料=入院	479,254,640	479,254,640	0	

配布基準データ登録画面

リストデータ登録(配布版) - メニュー - 配賦基準データ登録

配賦基準データ登録

登録

組織部署名称	医師数	職員数	延職員数	延患者数
診療/外来/一内科	30	50	80	5,000
診療/外来/二内科	0	0	0	0
診療/外来/脳神経科	40	40	0	0
診療/外来/一般消化器外科	0	0	0	5,716
診療/外来/胸部外科	0	0	0	0
診療/外来/脳神経外科	30	50	80	5,000
診療/外来/整形外科	40	40	0	0
診療/外来/小児科	0	0	0	0
診療/入院/1病棟	0	0	0	0
診療/入院/2病棟	30	50	80	5,000
診療/入院/3病棟	0	0	0	0
診療/入院/21病棟	0	0	0	0
診療/入院/22病棟	0	0	0	5,716
診療/入院/31病棟	30	50	80	5,000
診療/入院/32病棟	0	0	0	0
診療/入院/33病棟	0	0	0	0
診療/入院/42病棟	30	50	80	5,000
診療/外来共通	40	40	0	0
診療/入院共通	0	0	0	5,716
診療/各病部門共通	0	0	0	0
診療共通/総務部	30	50	80	5,000
診療共通/中央放射線部一般撮影	40	40	0	0
診療共通/中央放射線部血管造影	0	0	0	0
診療共通/中央放射線部RT	0	0	0	0
診療共通/中央放射線部CT	30	50	80	5,000
診療共通/中央放射線部MR	0	0	0	0

勤務実績登録メニュー画面

リストデータ登録(配布版) - メニュー - 勤務実績登録

勤務実績登録

医師個人情報登録

部署別所属医師勤務時間登録

勤務実績登録

戻る